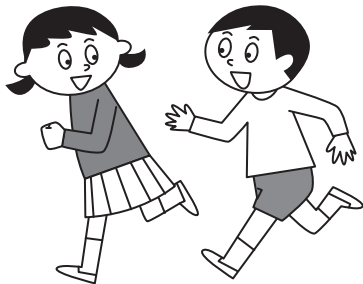


① ひとりにならない



あんぜんスイッチ オン!



たいせつ じぶん こころ からだ
大切な自分の心や身体を
まも
しっかり守りましょう!

講演資料

子どもたちのあんぜん編

うさぎママのパトロール教室
(文責: 武田信彦)
www.usagimama.com



ポイント!

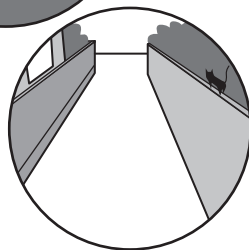
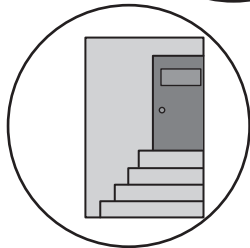
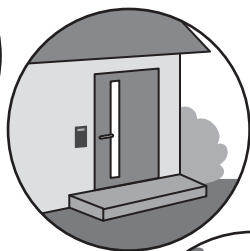
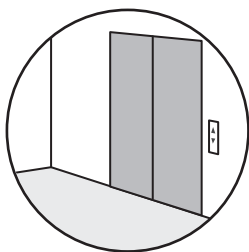
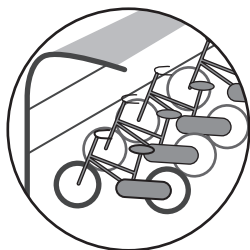
子どもたちのコミュニケーション能力を育むためにも、地域のみなさまとのあいさつなどはとても大切な練習の機会です。また、安全確保のためには、登下校時など、保護者やPTA、地域のみなさまの見守りの中で、「ひとりにならない」環境づくりが欠かせません。子どもたちと一緒にどうしたらひとりにならないかを考えてみましょう。

② ひとりになるとき どんなとき?



ポイント!

子どもの行動範囲が広がると、どうしても「ひとりになる」瞬間が生まれます。それは、最も気をつけなければいけない時でもあります。場所や時間にとらわれず、「ひとりになる」瞬間はどんなときでしょうか。



③ まわりをよくみる、よくきく



ポイント!

まわりに意識を向けることは、危険を寄せ付けず、万が一のとき対処を早めるための「予防力」です。とくに、自宅周辺など慣れている場所は、心や身体に隙(すき)が生まれやすくなるので注意が必要です。「だるまさんがころんだ」など、簡単なフレーズで習慣にするとよいでしょう。

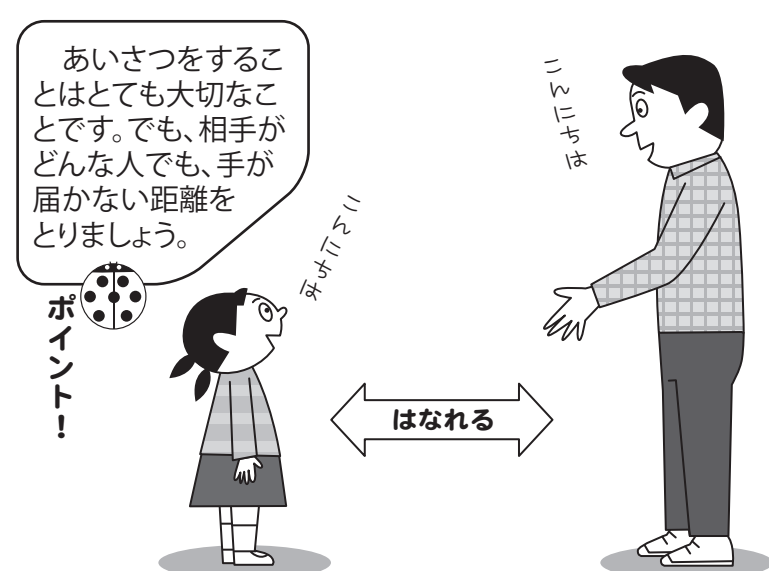


もし、ひとりになったら、まわりをよくみて、よくきいて歩きましょう。自分のまわりにどんな人(車、バイク、自転車...)がいるのか、しっかり確認して歩きます。

⑤ できません！



④ さわられない、つかまれない



⑥ にげる



ぼうはん 防犯ブザー



防犯ブザーは、逃げる、助けを呼ぶ時に役立つ道具です。すぐ手の届くところに身につけ、時々電池の確認をしましょう。

⑦ たすけてをつたえる

